資料１　2016 年度　シニア会活動報告

（１） 北海道学生会第 45 回学生員卒業研究発表講演会への参加

日時：2016 年 3 月 7 日（月）、9:35～15:30

会場：函館工業高等専門学校（函館市戸倉町）

参加者：シニア会員４名（杉山、臺丸谷、成田、大橋）

（２）2015 年度第 3 回運営委員会

日時：2016 年 3 月 8 日（月）、11:00～12:00

会場：北海道大学工学部Ａ棟６階　A6-63 会議室

出席者：運営委員６名（杉山、小林、三浦、長尾、臺丸谷、二俣）

審議事項 1.2015 年度活動報告　　２.2015 年度決算報告

３.2016 度シニア会運営委員（道央地区 1 名増で、計 10 名）

４.2016 年度シニア会委員長、副委員長、幹事および 3 地区責任者

５.2016 年度シニア会活動計画（案）　　６.2016 年度活動予算（案）

（３）2015 年度シニア会総会および交流会

日時：2016 年 3 月 8 日（月）、13:00～15:30

会場：北海道大学工学部Ａ棟４階　A4-63 会議室

出席者：運営委員 7 名（杉山、小林、三浦、長尾、臺丸谷、二俣、成田）

シニア会員 7 名（谷口、木谷、花岡、岸浪、豊田、鍵和田、奥山）

総会

審議事項 1.2015 年度活動報告　　２.2015 年度決算報告

３.2016 年度シニア会活動計画（案）　　４.2016 年度活動予算（案）

交流会

話題提供１．道南地区で実施された第１回「科学と技術に関する公開講座」

「超音速の世界」について　（道南地区責任者　杉山弘）

話題提供２.「エネルギーと環境教育」について（北大名誉教授　谷口博）

参加者全員によるスピーチと懇談

（４）2016 年度第１回シニア会運営委員会（メール審議）

審議期間：2016.3.29～4.4

審議事項１．企業見学会・交流会の具体案について

第 1 回目の企業見学・交流会の日時・場所を以下のように決めた。

日時：2016 年 7 月 21 日

見学先：野村興産㈱　イトムカ鉱業所（北見市留辺蘂町富士見）

交流会：塩別つるつる温泉

第 2 回目は、道南地区で、10 月開催を目途に検討することとした。

審議事項２．小中・高校生等に対する理工学教育支援活動（理科授業、公開講座など）

について道央、道南、道東の３地区で、それぞれ検討することとした。

その結果、道南地区では、前年度に続き、一般社会人（高校生以上）を対象とする下記の公開講座を開催することとした。

第 2 回「科学と技術に関する公開講座」

題名：日本刀を科学する～日本刀の機能美と科学的合理性～

講師：シニア会員　臺丸谷政志

開催日：2016 年 7 月 23 日

（５）2016 年度第１回企業見学会および交流会・懇親会の開催

日時：2016 年 7 月 12 日（金）、14：00～17：00

場所：野村興産㈱ イトムカ鉱業所　（北見市留辺蘂町）

見学会参加者：シニア会員 7 名（小林、二俣、常本、杉山、園田、鍵和田、大谷）

企業技術者　約 30 名

交流会・懇親会：塩別つるつる温泉（北見市留辺蘂町）

参加者：シニア会員 7 名、企業技術者 2 名

（６）第 2 回「科学と技術に関する公開講座」の開催

題名：日本刀を科学する　～科学的合理性と機能美～

講師：道支部シニア会会員　臺丸谷政志

日時：2016 年 7 月 23 日（土）15：30～17：00

場所：室蘭工業大学　地域共同研究開発センター

主催：日本機械学会北海道支部シニア会

共催：室蘭工業大学、後援：室蘭市教育委員会、協賛：室蘭テクノセンター

参加人数：３２名

（７）2016 年度第２回企業見学会および交流会・懇親会の開催

日時：2016 年 10 月 12 日（水）、9：00～10：30

見学先：①北海道エア・ウォーター㈱　（室蘭市港北町）

（燃料電池車（FCV）と移動式水素ステーションの見学）

②日本製鋼所　室蘭製作所（室蘭市茶津町）

（移動式水素ステーション用蓄圧器の研究開発状況）

参加者：シニア会員 9 名（後藤、石坂、杉山、臺丸谷、疋田、岸浪、花岡、三浦、大谷）

企業等関係者：２名

交流会・懇親会：日本製鋼所室蘭製作所　（11：00～13：00）

参加者：シニア会員 9 名、企業関係者：２名

（８）第 54 回日本機械学会北海道支部講演会

日時：2016 年 10 月 29 日（土）、

会場：苫小牧高専

参加者：シニア会員６名（若手優秀講演に対する北海道支部フェロー賞審査に協力）

（９）第３回「科学と技術に関する公開講座」の開催

題名：やさしい自動制御のはなし

～制御原理からコンピュータによる制御まで～

講師：道支部シニア会会員　疋田弘光

日時：2016 年 11 月 5 日（土）13：30～15：00

場所：室蘭工業大学　地域共同研究開発センター

主催：日本機械学会北海道支部シニア会

共催：室蘭工業大学、後援：室蘭市教育委員会、協賛：室蘭テクノセンター

参加人数：３２名

（１０）2016 年度第２回シニア会運営委員会（メール審議）

審議期間：2016 年 11 月 11 日～12 月 8 日

審議事項１．シニア会運営委員会の任期延長についての提案

道支部シニア会規約によると運営委員の任期は１期２年である。しかし、シニア会の組織や活動等について、立ち上げ・模索の段階であるので、さらに１期２年、現運営委員でシニア会の活動を行う提案

審議事項２．道央、道南、道東・道北地区で運営委員を各１名増員する提案

北海道支部シニア会の活動を各地区でさらに活発化させるため。

上記の２提案に対し、道支部関係者（支部長、副支部長、庶務幹事、シニア会担当幹事等）の了解を得、シニア会運営委員会でメール審議を行った結果、上記の２提案は承認された。また、上記の審議事項２に関連し、審議した結果、豊田国昭（北海道科学大学名誉教授）、石坂淳二（室蘭工大ＣＲＤセンター学外協力員）、大橋鉄也（北見工大教授）の３氏が新運営委員として、選出された。

（１１）ものづくり技術セミナーの開催

日時：2016 年 11 月 29 日（火）　13：30～16：30

場所：かでる２・７　520 研修室　（札幌市）

共催：一般社団法人　北海道機械工業会

一般社団法人　日本機学会北海道支部シニア会

題名：ものづくり技術セミナー

～ものづくり企業が必要とするリスクマネジメントについて～

（１）破壊の基礎と事故事例

講師：機械学会北海道支部シニア会会員　野口　徹

（２）ものづくりにおける模倣品対策

講師：経済産業省製造産業局模倣品対策室　鷹野　亨氏

（３）自動車部品業界版ＢＣＰ（事業継計画）ガイドラインとものづくり企業への応用

講師：日本政策投資銀行　北海道支店　西山健介氏

（４）北海道機械工業会のものづくり企業支援事業紹介

参加人数：６２名（この内、参加したシニア会員は、長尾、野口、杉山、臺丸谷、成田、三浦、園田、鍵和田の８名）

（１２）道南地区におけるシニア会懇談会・懇親会の開催

日時：2016 年 12 月 6 日（火）、17:30～20:30

場所：室蘭工業大学　大学会館２階　レストラン

出席者：道南地区シニア会員８名（石坂、後藤、杉山、臺丸谷、疋田、花岡、岸浪、宮城）

懇談内容：

（１）本年度道南地区で実施したシニア会の諸活動　○公開講座２件、○企業見学会交流会１件、に関する意見交換

（２）次年度実施予定のシニア会諸活動　○公開講座２件、○企業見学会・交流会に関する意見交換

以　上

資料 2　　2016 年度　シニア会活動決算報告

費　　目	予算、円	決算、円	差異、円	備　　考
【シニア会事業費】				
見学会	100,000	13,540	86,460	第２回見学会交通費（タクシー代）
理科支援活動費（公開講座）	60,000	30,000	30,000	アルバイト代(7 月 23 日・15,000 円, 11 月 5 日・15,000 円)
新規活動費（中堅機械技術者研修会・ものづくり技術セミナー/支部講演会活性化支援費）	100,000	46,577	53,423	支部講演会フェロー賞審査のための交通費（6 名・35,440 円), ものづくり技術セミナー（講師謝金: 1 名・11,137 円）
中堅技術者表彰事業	40,000	0	40,000	本部承認案件のため本年度は実施せず
費　目　小　計	300,000	90,117	209,883	
【シニア会会議費】				
運営委員　旅費	160,000	53,520	106,480	運営委員会参加のための交通費宿泊費（札幌で１回開催・６名分）
その他				会議お茶代
費　目　小　計	160,000	53,520	106,480	
合　　計	460,000	143,637	316,283	316,363 円を支部に返納

資料３　　2017 年度 シニア会活動計画案

（１）シニア会運営委員会の開催（年に１回程度、札幌）
　　出来るだけ、メールによる運営委員会（メール審議）を、開催（実施）する。

（２）企業見学会・交流会の開催　（2 回程度）

（３）小中・高校生等に対する理工学支援活動（理科授業、公開講座など）
　　北海道は面積的に広大であるので、３地区、すなわち道央地区、
　　道南地区、道東・道北地区で、それぞれ 1～２件程度実施する。

（４）日本機械学会北海道支部学生員卒業研究発表会への協力・支援

（５）日本機械学会北海道支部講演会への協力・支援

（６）ものづくり人材育成支援
　　具体的には、ものづくり技術セミナーの開催
　　（一般社団法人 北海道機械工業会との共催で実施する）

（７）日本機械学会北海道支部賞（中堅技術者貢献賞）選考に関する協力・支援

資料４　2017 年度　シニア会活動予算案

【シニア会会議費】

①　運営委員会（年１回、札幌）委員交通費　　8 万円

【シニア会事業費】

②　企業見学会・交流会費
（貸切りバス代など交通移動費（1 回分 2.5 万円で、２回分）
5 万円

③　小中・高校生等に対する理工学支援活動費
（理科授業、公開講座など）
（各地区における活動費 4 万円/道南地区、
2.5 万円/道央地区と道東地区）　　9 万円

④ 支部活性化支援活動費/中堅技術者研修会・ものづくり技術セミナー開催経費
・卒研発表会支援参加旅費　　7 万円
・支部講演会活性化支援参加旅費　　7 万円
・ものづくり技術セミナー開催経費　　8 万円

⑤ 中堅技術者表彰事業費
（1 件２万円程度で、１件分）　　2 万円

小　計　　38 万円

合　計　　46 万円